

## 第1学年 スーパーISO 学習指導案

### 1. 題材名 「スーパーISO」

### 2. 題材設定の理由

#### ○題材観

戦争、失業、家庭崩壊など不安定な社会状況の中、人々の心が砂漠化に向かっているように思われる。他人に対する思いやりや優しさの欠如、自分さえよければいいという自己中心的な考え方や振る舞いは“心の砂漠化”の現れである。この“心の砂漠化”を癒すには、私たちの社会に、愛のエネルギーを注ぐことが大切である。一人一人が愛あふれる存在になることで愛あふれる社会をつくることができる。「スーパーISO」はわたしが変わることで周りが変わり世界が変わることを目指した意識マネジメントである。

#### ○指導観

「スーパーISO」とは、東洋大学経営学部石井薫教授が発案・提唱されている学生・生徒に意識改革を促すプログラムである。他律的な道徳ではなく、自立的な自己マネジメントによる意識マネジメントの手法である。人を変えることは難しい。しかし自分を変えることは意識一つでできる。「自分が変われば周りが変わり、世界が変わる」という哲学が裏付けとなっている。先輩たちの実践レポートを読ませても初めは「本当だろうか」と疑問に思う生徒もいるが、実際にやってみると「なるほど」と実感するようだ。

### 3. 計画

①1学期初めのLHRや授業のオリエンテーションの中で説明する（本時）。

②年間を通して行う。

- ・1学期：家庭版・学生版の中から「やってみようかな」「できそうかな」と思う項目を自分で選んで実践させ、レポートを提出させる
- ・夏休み：家庭版      2学期：学生版      冬休み：家庭版      3学期：家庭版・学生版をそれぞれ実践させ、レポートを提出させる。

③レポート用紙はB5サイズ（A4でもいいが指定した方が整理しやすい） 1枚以上何枚でも可。

④レポート提出日は一定期間後にあらかじめ指定しておく

⑤レポートの書き方（これにとらわれずに自由に書くように指示）

- ・スーパーISO家庭版・学生版の中で特に何を実践したか。
- ・実践してみて、家族や友達、先生などの周りの反応はどうだったか。
- ・実践してみて自分でどう感じたか、何か自分の中で変化はあったか、世界は変わったか。
- ・スーパーISOについての率直な感想、他。

### 4. 本時の目標 「スーパーISO」とは何かを理解し、今日から実践すること

### 5. 指導上の留意点

○生徒からの質問にはていねいに答える。

### 6. 教材

生徒：資料プリント

教師：資料プリント

#### ※参考文献

- ・東洋大学経営学部 石井薫教授 「『環境マネジメント入門』講義の現場報告」（創成社）
- 〃 「『環境マネジメント』講義の現場報告」（創成社）
- 〃 「『環境監査論』講義の現場報告」（創成社）
- 〃 「地球マネジメント入門」（創成社）
- ・地球マネジメント学会通信 72号（2006.12）「心の砂漠化に愛を育てる教育の実践」（石井薫教授）

